

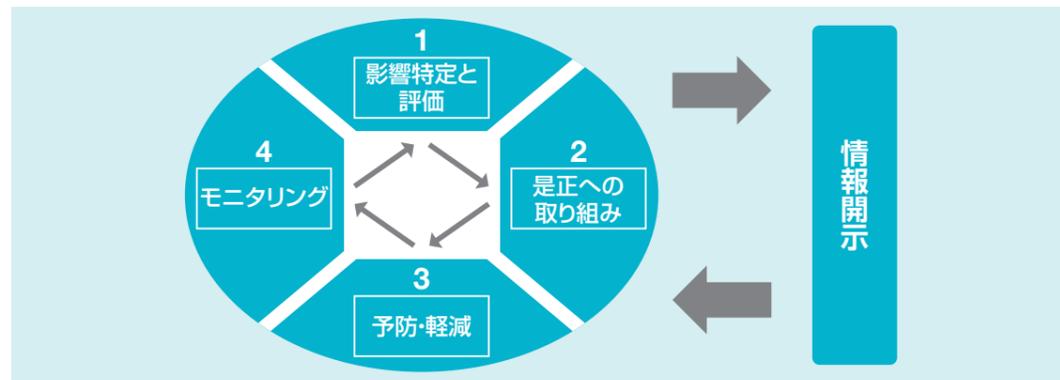
# 人権対応

## 人権に関する考え方

当社グループは、社会課題を率先して解決し、持続可能な社会の実現へ貢献していくことを目指しており、自らの経営理念を実現していくうえで、人権の尊重が不可欠の前提であると認識しています。「みずほリースグループの企業行動規範」を制定し、役員および従業員の具体的な行動指針を示すとともに、人権に対する当社グループの責任と決意を対外的に示すため「人権ポリシー」を策定しています。

自社グループを対象とした人権デュー・デリジェンスに続き、2024年度は人権に関する社員へのアンケートを実施しました。従業員一人ひとりの人格や個性を尊重し、一切のハラスメント行為を断じて許さず、働きがいのある職場環境の維持に努めるため、ホットラインや各種相談窓口にて問題行為への継続した対応を実施し、今後さらに防止・軽減・モニタリング等に向けて取り組んでいきます。

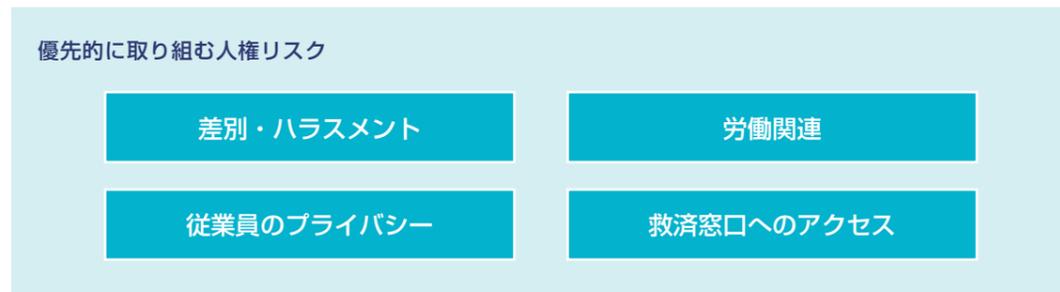
## 人権デュー・デリジェンスのステップ



## 重要な人権リスク

「影響特定と評価」により、まずは当社および当社グループの会社の従業員に起こる可能性のある人権リスクを洗い出し、発生可能性と深刻度の観点からアセスメントを実施しました。今後は、当社グループのサプライヤーや投資先にも範囲を拡げていくことを検討しています。

優先的に対応が求められる重要な人権リスクは以下のとおりです。



## 取り組み

### 人権デュー・デリジェンスに関する取り組み

是正への取り組み	・職場における不正行為等の早期発見のために、従業員向けの内部通報制度を設けています。
予防・軽減	・従前より、人権の啓発強化に向けた社内研修を行っています。
モニタリング	・まずは、社内モニタリング強化として、人権教育の浸透度を探り、人権デュー・デリジェンスの進捗を評価するため、アンケート調査を実施し、関連施策が適切に機能していることを確認しています。

# ステークホルダーの方々とともに

リース会社として長い経験を持つ当社グループは、金融、モノの管理、不動産、環境エネルギー等、多くの事業を通じて経済、社会、環境、暮らし等に密接に結び付いています。「サステナブルな社会のクリエイター」として、ステークホルダーとのコミュニケーションを積極的に行い、よい循環を育みながら、ビジネスを通じて持続可能な社会の実現に貢献していきます。



### お客さま・ビジネスパートナー

**姿勢**

金融の枠を超えた価値共創のパートナーとして事業課題や社会的課題の解決に努め、お客さまの満足度向上と信頼獲得に取り組めます。また、アライアンスパートナーとの協業により、新たな価値を育み、事業領域の拡大を目指します。

**主な取り組み**

SDGsリース、循環型経済の実現に対するサポート、事業戦略ソリューションの提供、不動産プロジェクトに対するサステナブルファイナンスの提供。  
〈みずほ〉との連携、アライアンスパートナーとの協働。



### 従業員

**姿勢**

従業員一人ひとりの人格や個性を尊重し、一切のハラスメント行為を断じて許さず、働きがいのある職場環境を維持し、多様な人財や価値観を取り入れていきます。

**主な取り組み**

社長/役員と従業員との部毎、組織横断での対話ミーティング、ABW(Activity Based Working)の導入、テレワークの推進、フレックスタイム導入、健康経営、社内イントラ研修、ほぼ月1バー開催、ホットラインの整備、エンゲージメントサーベイの実施。自社グループを対象とした人権デュー・デリジェンス、人権に関する社員へのアンケート実施。



### 株主・投資家

**姿勢**

事業環境の変化に対応し、持続的な成長と安定した収益の確保を目指します。また、環境および社会分野においても企業価値の向上に努め、企業情報を公正に開示し、透明で健全な関係を築いていくことで、株主の期待に応えます。

**主な取り組み**

統合報告書、株主向け報告書、コーポレートガバナンスに関する報告書、HP、IRサイト、株主総会、決算説明会、投資家個別面談、公平かつタイムリーな情報開示。サステナブルファイナンスでの資金調達。



### 社会

**姿勢**

社会貢献活動を積極的に行うことで、社会・地域とのより良い共生を図ります。また、事業展開する地域に暮らす人々の生活向上や地域産業の発展、雇用機会創出に貢献します。

**主な取り組み**

国庫補助金を活用した、脱炭素設備導入事業を通じた社会貢献活動、被災地への義援金、障がい者支援活動、NPO・NGO活動への参加および支援による課題解決。



みずほリースグループ